

三船 優子 YUKO MIFUNE × 堀越 彰 AKIRA HORIKOSHI
PIANO DRUMS

- OBSESSION -

OBSESSION は クラシックピアノとドラムという
今までにない組み合わせでありなか?ら
クラシックの楽曲を繊細かつダイナミックに蘇らせる
まったく新しい 最小にして最大のオーケストラである



2015年11月2日(月)

LIVE DOME スターダスト

仙台市青葉区本町 2-5-18 カルラ本町ビル 4F

Open 18:30/Start 19:30 3500円



【曲目】

- ・主よ、人の望みの喜びよ (Bach)
- ・ボレロ (Ravel)
- ・ラブソディー・イシ・ブルー (Gershwin)
- ・天使のミロンガ、天使の死 (Piazzolla)
- ・ダッタン人の踊り (Borodin)
- ・パガニーニの主題による狂詩曲 (Rachmaninov)
- ほか

お問合せ/ご予約

LIVE DOME スターダスト 022-265-1139

<http://www.re-marumatu.co.jp/stardust/stardust.html>

OBSESSIONというこのユニットは、その名の通り「取り憑かれる」ような魅力に溢れています。クラシック・ピアニスト三船優子はニューヨークに育ち、桐朋学園大学、ジュリアード音楽院卒業後国際的に活躍する、日本が誇るソリストです。毎年秋に行なわれる仙台クラシック・フェスティバル(せんくら)にも、7年連続で出場し、仙台ではお馴染みの顔です。一方、ジャズピアノの奇才山下洋輔に見出され、30カ国以上の海外公演を経験、さまざまなジャンルを凌駕する、感性のドラム&パーカッション、堀越彰。彼らの超絶テクニックと多彩な表現力、美しいサウンドとその品格は、デュオとは思えないダイナミズムを生み出します。

これまで各地で大好評を博しているOBSESSION。活動2年目に突入する今、昨年のせんくらに続き、今年も仙台公演が決定しました。バッハ、ラヴェル、ラフマニノフ、バルトーク、ピアソラ、ガーシュウィン・・・クラシックの偉大なる作曲家たちの名曲に対峙する、ふたりのアーティストの新たな挑戦をお楽しみください。



----- PROFILE -----

・三船優子 YUKO MIFUNE [Piano]

幼少時代をアメリカ・ニューヨークで過ごす。ジェローム・ローエンタール、井口秋子、奥村洋子、安川加寿子、マーティン・キャンニンに師事。'88年第57回日本音楽コンクール第1位。桐朋学園大学首席卒業後、文化庁派遣にてジュリアード音楽院に留学。'91年フリーナ・アワーバック国際ピアノコンクール優勝。アメリカ・デビューをコンチェルトで果たし、カーネギーホール、リンカーンセンターなどでもリサイタルを行なう。帰国後、各地でのリサイタル、国内すべてのオーケストラと共演。ロシア、韓国、ニュージーランド、シンガポール、トルコなど、海外でもツアー、マスタークラスなどを行なう。演奏活動以外にもラジオのパーソナリティーや、NHK-BS2「週刊ブクレビュー」の司会を6年間務めるなど、多岐に亘り活躍。CDはリスト作品、「ラブソフィー・イン・ブルー」、レコード芸術にて特選盤となった「バーバー・ピアノ作品集」「南米ピアノ作品集」など、多数発売。教育活動にも独自の視点で積極的に係わり、シンガポールではリサイタルと共にキッズ・コンサートやマスタークラスを度々開催。監修・演奏を務めたピアノ教則本「DVDですぐわかる かんたんピアノの弾き方」(成美堂出版)は初版1万部、以後増刷中で根強い人気を博す。全180曲8枚組CD「きらきら☆ピアノ」(ビクターエンタテインメント)は高評を得て、リリース後は付随して「きらきら☆子供ワークショップ」やアウトリーチ活動にも力を注いでいる。シャープで切れのあるタッチと繊細で品格の美音、華のあるダイナミックな演奏は、近年益々ファンを拡げている。古典から現代音楽に至る幅広いレパートリーにも定評がある。京都市立芸術大学非常勤講師。Official HP: <http://www.yukomifune.com>

・堀越彰 AKIRA HORIKOSHI [Drums & Percussion]

東京生まれ。13才からドラムを始め、海老沢一博氏、村上“ポンタ”秀一氏に師事。1990年「山下洋輔ニュートリオ」でプロデビュー。国内を始め、ヨーロッパツアー、南米ツアー、ベルギーの野外コンサート、日本全国縦断88ヶ所サバイバルツアー等に参加。'94年新たに「山下洋輔デュオプラス」として活動を開始し10年に及びレギュラーユニットとして活動、今でも厚い信頼を得ている。また空間演劇集団ババ・タラフマラの公演、アフリカンパーカッション、インドやネパールの古典音楽、琴、中国琵琶など様々なジャンルの演奏家とセッションを始める。邦楽と洋楽を融合し民謡を歌う伊藤多喜雄 Bandでは国内外ツアーに参加、'03年紅白歌合戦にも出演する。日舞家の父の影響から日本の伝統音楽を深く敬愛し、邦楽器と組んだ「東方異聞」、クラシックを基軸とした「SOLO-ist」、渡辺剛 (vl) や深町純 (pf) と「The WILL」を結成するなど、セルフプロデュースにも取り組む。「SOLO-ist」ではマカオ公演、キューバ公演を成功させる。'08年よりジャズピアニスト藤井郷子 率いる「ma-do」に参加。オーストラリア、欧米など、十数カ国ツアーに同行。近年はバリ在住のアコーディオン奏者 taca、二胡奏者チェンミンらと共演する他、尺八奏者小演明人と「LOTUS POSITION」を結成、NYで活動を開始。'15年2月には山下洋輔も加わり国際交流基金主催、チェコ・スロヴァキア四都市ツアー。シルク・ド・ソレイユで活躍したパフォーマー、フィリップ・エマールらと組む「INSTINCT」でも活動中。都内に2カ所のドラムスクールを持つ。楽器提供: Canopus Official HP: <http://www1.tcn.ne.jp/play-ground/>